

# 令和6年度国立歴史民俗博物館特別共同利用研究員募集要項

## 1. 目 的

大学の要請に応じ、大学院における教育に協力するため、本館に特別共同利用研究員を受入れるものです。

## 2. 募 集 人 員

若 干 名

## 3. 受 入 資 格

大学院の博士課程又は修士課程に在籍し、文献史学、考古学、民俗学及び自然科学を含む関連諸学に関する分野を専攻する学生。

## 4. 受 入 期 間

令和6年4月から令和7年3月までとします。

なお、博士課程の後期課程（区分を設けていない博士課程にあつては、これに相当する課程）に在籍する学生に限り、延長を認めることがあります。

## 5. 受 入 場 所

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市城内町117番地）

## 6. 指 導 教 員 及 び 研 究 指 導 項 目

別紙のとおり。

## 7. 提 出 書 類

- (1) 所属する大学院の研究科等の長の委託書（様式1）
- (2) 所属する大学院の指導教員の推薦書（様式2）
- (3) 当該学生の履歴書、研究業績書（様式3）

## 8. 提 出 期 限

令和6年1月10日（水）必着

注：書類提出に先立ち、所属する大学院の指導教員並びに本館の指導教員と受入れについて十分相談し、了承を得た上で申請してください。

## 9. 書 類 提 出 先（書留で郵送のこと）

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地 TEL 代表 043-486-0123

国立歴史民俗博物館 管理部研究協力課大学院担当 TEL 043-486-4361

## 10. 受 入 れ の 決 定

提出された書類に基づき、本館教務委員会での審査の上館長が決定し、その結果を当該大学院研究科等の長及び本人に通知します。

## 11. 研 究 指 導 に 係 る 費 用

国公立大学のすべての大学院学生は無料とします。

## 12. そ の 他

- (1) 研究指導の内容等についての照会は当該指導教員にお願いします。また、事務手続きに関しての問い合わせは管理部研究協力課研究教育係宛にお願いします。
- (2) 本館では学位論文の作成等の研究指導は行いますが、学位論文の審査や学位の授与、修得単位の認定等は当該学生が在籍する大学院で行うことが前提となっています。
- (3) 本館では、災害補償制度は準備していません。あらかじめ所属大学で、日本学生支援機構の行っている学生教育研究災害傷害保険等に加入してください。
- (4) 本館敷地内に宿泊用の施設（有料、事前予約制）がございます。
- (5) 本館の事業と教員紹介は本館のホームページ (<http://www.rekihaku.ac.jp/>) を参照してください。

## 指導教員及び研究指導項目

あなたの研究に合う指導教員がきっと見つかります。研究指導にかかる費用は徴収しません。  
博物館を有する大学共同利用機関としての特性と利点を活かし、専門家の指導と、実物資料に基づく多様な分析方法の活用によって、高度な総合的能力をもつ研究者の教育を目指しています。

(五十音順)

青木隆浩	近現代の商家研究，社会規範研究
天野真志	日本近世・近代の学問と政治・文化に関する研究，地域資料の保存と継承に関する研究
上野祥史	古代東アジアの墳墓と金工品の考古学研究
内田順子	近代日本における映像民俗学（映画技術，作品の歴史的・文化的背景，民俗学との関わり）
大久保純一	浮世絵，江戸後期の風景表現
小倉慈司	日本古代文献史料論
川村清志	祭礼，民俗芸能を中心とした民俗文化
工藤航平	日本近世地域史，民衆文化
小池淳一	民俗信仰の史的研究，口承文芸の研究，読み書きと民俗をめぐる学際研究，日本民俗学史に関する研究
小瀬戸恵美	自然科学的手法による歴史・文化財資料の材質分析と産地推定
後藤真	人文情報学・特に日本史学に対して情報技術を応用した研究
齋藤努	自然科学的手法を用いた歴史資料の材質，物性，製作技法，原料の産地などに関する研究
坂本稔	炭素14年代法
澤田和人	日本の染織史
島津美子	自然科学的手法（顕微鏡観察，元素分析など）による彩色材料の材質分析（顔料，染料など）
鈴木卓治	博物館における研究・展示・広報を支援する情報システム（ソフト・ハード）の研究，色彩と画像の情報処理
関沢まゆみ	社会と儀礼に関する民俗学的研究，高度経済成長と生活変化
高田貫太	外来系の考古資料に基づく古代（主に弥生～古墳時代）の日朝関係史
田中大喜	中世武士団・武家政権論，中世地域社会論
中村耕作	先史社会におけるモノ・身体象徴・認識論（主に縄文土器・葬送・家屋）
仁藤敦史	都城制成立過程の研究，古代王権論，古代地域社会論
箱崎真隆	年輪年代法，酸素同位体比年輪年代法，炭素14スパイクマッチ法，木材樹種同定
橋本雄太	人文情報学，特に歴史研究や歴史教育の支援を目的としたWebシステム開発
林部均	古代宮都の研究・古代地域社会の研究
樋浦郷子	帝国日本の教育と宗教
樋口雄彦	明治期の社会・文化と旧幕臣の動向
日高薫	蒔絵を中心とする漆工芸史
福岡万里子	幕末外交史，19世紀東アジア国際関係史，日欧交渉史
松尾恒一	民俗宗教，民間信仰の研究，職能者の祭儀と呪術，寺社の儀礼研究，東アジアにおける異文化の接触と変容の研究
松木武彦	古墳時代の考古学的研究，武器と戦争の考古学的研究，進化・認知科学に基づく理論考古学
松田睦彦	生業の技術・信仰・人の移動
三上喜孝	出土文字資料を中心とした古代東アジア文字文化の研究
村木二郎	中世日本の流通・技術・信仰に関する考古学的研究
山田慎也	死と葬送儀礼の近代化に関する研究
吉井文美	近代日本外交史・近代東アジア国際関係史
吉村郊子	生業と環境利用の変遷に関する人類学的研究
若木重行	金属元素同位体分析手法の開発と歴史資料研究への応用（産地・食性等），自然科学的手法による地球史・人類史の解説

※指導教員は，人事異動等により変更する場合があります。

年 月 日

国立歴史民俗博物館長 殿

大学院研究科等の長

所 属

氏 名

国立歴史民俗博物館への大学院学生の委託について（依頼）

このことについて、下記の者を貴博物館の特別共同利用研究員として委託したいので、  
よろしくお取り計らい願います。

記

( ふ り が な )  
氏 名

生 年 月 日 年 月 日生 ( 歳 )

現 住 所 (郵便番号 - ) (TEL. )

所属大学院および専攻名 大学大学院 研究科等 専攻

所属大学院における在籍区分 修士・博士課程の別 ( 年度第 年次 )

所属大学院における指導教員名

委託希望の研究課題名

委託希望の指導教員名

委 託 希 望 期 間 年 月 ～ 年 月

本館特別共同利用研究員としての在籍 有 ( 年 月～ 年 月 ) ・ 無



# 推 薦 書

年 月 日

国立歴史民俗博物館長 殿

指 導 教 員

所 属 ・ 職

氏 名

貴博物館の特別共同利用研究員として下記の者を推薦いたします。なお、貴博物館における委託希望教員の内諾を得ていることを申し添えます。

記

推薦する学生の氏名・所属研究科等・専攻名

委託希望の指導教員名

推薦理由（評価を含む）



## 履 歴 書

年 月 日 現在

ふりがな	性 別	年 月 日生
氏 名	男 女	満 歳

現住所 〒	電 話 ( )
	E-mail

年	月	学 歴	入学・卒業・ 修了・退学
自			
至			
自			
至			
自			
至			
自			
至			
自			
至			
自			
至			

※ 学歴は高等学校から記入のこと

年	月	職 歴 (学会及び社会における活動等を含む)
自		
至		
自		
至		
自		
至		
自		
至		

